

役員一覧



代表取締役 会長

長尾 裕

所有株式数: 47,300株

1988年 4月 当社入社
 2019年 4月 当社代表取締役社長兼社長執行役員
 2021年 4月 ヤマト運輸(株)代表取締役社長
 兼社長執行役員
 2025年 4月 同社取締役 現在に至る
 2026年 4月 当社代表取締役会長 現在に至る



代表取締役 社長 社長執行役員

櫻井 敏之

所有株式数: 2,100株

1998年 4月 当社入社
 2015年 4月 ヤマトWebソリューションズ(株)
 代表取締役社長
 2020年 3月 ヤマトロジスティクス(株)
 営業統括本部執行役員
 ヤマト運輸(株)常務執行役員
 (宅急便事業統括)
 2026年 4月 当社社長執行役員
 2026年 6月 当社代表取締役社長
 兼ヤマト運輸(株)取締役 現在に至る



取締役 執行役員

阿波 誠一

所有株式数: 21,500株

1993年 4月 当社入社
 2012年 4月 ヤマト運輸(株)経営戦略部長
 2020年 3月 ヤマトシステム開発(株)
 代表取締役社長兼社長執行役員
 2024年10月 ヤマト運輸(株)専務執行役員
 (ネットワーク再構築統括)
 2025年 4月 同社代表取締役社長兼社長執行役員
 現在に至る
 2026年 6月 当社取締役執行役員 現在に至る



取締役

チャールズ・イン

社外役員 独立役員

所有株式数: 一株

1990年 2月 エルスリー・インク(ニューヨーク)入社
 1992年 3月 同社ヴァイスプレジデント
 2007年 8月 ワールドワイド・シティグループ(香港)CEO
 2018年 7月 同社エグゼクティブチェアマン 現在に至る
 2022年 6月 当社取締役 現在に至る



取締役/取締役会議長

池田 潤一郎

社外役員 独立役員

所有株式数: 900株

1979年 4月 大阪商船三井船舶(株)
 (現(株)商船三井)入社
 2015年 6月 同社代表取締役兼社長執行役員
 2023年 4月 同社取締役会長
 2024年 6月 当社取締役 現在に至る
 2026年 6月 (株)商船三井 特別顧問 現在に至る



取締役/指名報酬委員長

木原 民

社外役員 独立役員

所有株式数: 一株

1985年 4月 (株)リコー入社
 2019年 4月 リコーITソリューションズ(株)
 理事 技術経営本部長
 (株)リコーデジタル戦略部デジタル人材
 戦略センター所長
 2022年 7月 リコーITソリューションズ(株)取締役
 2025年 6月 当社取締役 現在に至る



取締役

クリスティン・エドマン

社外役員

所有株式数: 一株

1997年11月 マテル・インターナショナル(株)入社
 2005年 8月 エイチ・アンド・エムヘネス・アンド・マウ
 リッツAB(スウェーデン)入社
 2008年 3月 エイチ・アンド・エムヘネス・アンド・マウ
 リッツ・ジャパン(株)代表取締役社長
 2017年 6月 LVMHファッション・グループ・ジャパン(株)
 (現 LVMHファッション・グループ・ジャパ
 ン合同会社)取締役 ジパンシージャパン
 プレジデント&CEO
 2021年12月 (株)ZOZO執行役員(2024年11月退職)
 2026年 6月 当社取締役 現在に至る



取締役

藤本 昌義

社外役員 独立役員

所有株式数: 一株

1981年 4月 日商岩井(株)入社
 2008年12月 MMC Automotriz S.A.
 Director President
 2017年 6月 双日(株)代表取締役 社長CEO
 2024年 4月 同社代表取締役 会長CEO
 2025年 4月 同社代表取締役 会長 現在に至る
 2026年 6月 当社取締役 現在に至る



常勤監査役

佐々木 勉

所有株式数: 12,600株

1987年 4月 当社入社
 2018年 9月 ヤマトロジスティクス(株)
 代表取締役社長兼社長執行役員
 2020年 3月 ヤマト運輸(株)代表取締役
 兼専務執行役員
 2022年 6月 当社監査役 現在に至る



常勤監査役

庄司 義人

所有株式数: 8,800株

1980年 4月 当社入社
 2019年 4月 ヤマト運輸(株)常務執行役員
 2022年 4月 同社財務部 プロジェクトグループ
 ゼネラルマネージャー
 2023年 6月 当社監査役 現在に至る



監査役

松田 隆次

社外役員 独立役員

所有株式数: 一

1986年 4月 弁護士および公認会計士 登録
 1992年 7月 松田法律事務所開設 現在に至る
 2012年 5月 日本弁護士連合会監事
 2014年 6月 公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団
 (現 公益財団法人アサヒグループ財団)
 監事 現在に至る
 2020年 6月 当社監査役 現在に至る



監査役

井野 勢津子

社外役員 独立役員

所有株式数: 一

1988年 4月 サントリー(株)入社
 2006年11月 SAPジャパン(株)代表取締役
 最高財務責任者
 2012年 3月 アマゾンジャパン リテール部門 CFO
 2024年 1月 エイトローズ ベンチャーズ ジャパン
 ベンチャーパートナー 現在に至る
 2024年 6月 当社監査役 現在に至る



監査役

寺田 昭仁

社外役員 独立役員

所有株式数: 一

1985年 4月 監査法人朝日会計社
 (現 有限責任あずさ監査法人)入社
 2009年 5月 有限責任あずさ監査法人 代表社員
 2022年 7月 寺田公認会計士事務所所長 現在に至る
 2025年 6月 当社監査役 現在に至る

スキル・マトリックス

氏名	役位	社外 役員	指名 報酬 委員会	企業価 値向上 委員会	専門性と経験						
					企業経営	マーケティング・ 営業	人事・労務	財務・会計	法務・リスク マネジメント	IT・デジタル・ テクノロジー	グローバル
長尾 裕	代表取締役会長				●	●	●			●	●
櫻井 敏之	代表取締役社長 社長執行役員		○	○	●	●	●			●	●
阿波 誠一	取締役執行役員				●		●	●	●	●	
チャールズ・イン	取締役	○	○	○	●	●				●	●
池田 潤一郎	取締役 取締役会議長	○	○	○	●		●				●
木原 民	取締役 指名報酬委員長	○	○	○			●			●	
クリスティン・エドマン	取締役	○	○	○	●	●					●
藤本 昌義	取締役	○	○	○	●	●					●
佐々木 勉	常勤監査役				●	●			●		
庄司 義人	常勤監査役				●			●			
松田 隆次	監査役	○						●	●		
井野 勢津子	監査役	○						●			●
寺田 昭仁	監査役	○						●	●		

※上記一覧表は各人が有するすべての知識や経験を表すものではありません。

サクセッションプラン

当社グループは、持続的な企業価値向上の実現に向けて、社長および次世代経営陣のサクセッションプランを最重要課題の一つと位置づけています。独立社外取締役が過半数を占める指名報酬委員会は、戦略的な議論と審議を通じて、本プロセスの独立性確保と実効性向上を図っています。

経営陣の人材要件定義とタレントプールの形成

事業ポートフォリオの変革期にある当社では、既存の事業領域にとらわれない多様な知見や、逆境下でも改革を断行するリーダーシップ・胆力などを社長の人材要件として定めています。また、次世代経営陣には、担当領域を牽引する高い専門性と実行力などを要件に設定しています。これらに基づき、教育と戦略的配置を連動させたタレントマネジメントを展開しています。階層別の「タレントプール」を設定し、年次での選抜型研修やキーポジションへのタフアサインメントを実施し、人材の可視化と計画的な引き上げを行っています。

新社長の選任と、さらなるモニタリング体制の高度化

指名報酬委員会では、年次で取締役の選任(再任)に関する審議を行っています。2026年4月の新社長就

■ 取締役・監査役に期待するスキル項目と選定理由

スキル項目	選定理由
企業経営	持続的に企業価値を向上させる中長期の経営計画の策定と遂行において、適切な意思決定や監督機能を発揮するため、企業経営に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。なお、企業経営にはサステナビリティ(ESG)を経営戦略に統合し、企業価値向上につなげる経験・知見を含みます。
マーケティング・営業	変化するお客様や社会のニーズに対して、グループの経営資源を活用した価値を提供するため、マーケティング・営業分野に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。
人事・労務	グループ最大の資産である社員が働きがいを持ちイキイキと活躍するとともに、人権や多様性が尊重され安心して働くことができる企業となるため、人事・労務分野に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。
財務・会計	強固な財務基盤を構築し、事業成長につながる投資や資本効率の向上を推進するため、財務・会計分野に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。
法務・リスクマネジメント	グループ企業理念に基づき、法と社会規範に則った安全・安心な事業活動を通じて、公正かつ信頼される企業となるため、法務分野に関する豊富な経験と知見やリスクマネジメント能力が必要な項目として選定しています。
IT・デジタル・テクノロジー	データ分析に基づく経営資源の最適配置やデジタル技術を駆使した効率的な事業運営を実現するため、IT・デジタル・テクノロジー分野に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。
グローバル	グローバルな事業展開を通じて、お客様のサプライチェーンやビジネスプロセスの変革に貢献するため、グローバル分野に関する豊富な経験と知見が必要な項目として選定しています。

任においては、現在の経営環境と今後の事業課題などを踏まえて客観的かつ厳格な議論を行った結果、新体制への移行を決定しました。タレントプール内の候補者を絞り込み、指名報酬委員が最終候補者との直接面談を実施して「変革への覚悟」や資質を見極めた上で取締役会に答申しています。

本プロセスの客観性と透明性をより高めるため、社外取締役によるタレントプールのモニタリングを高度化します。取締役会などでの質疑に加えて、次世代候補者層との直接的な対話の場や現場視察などの機会を拡充し、候補者の資質や人柄への理解を深めることで、経営の監督側からの多角的なアセスメントと計画的な次世代経営陣の輩出を図ります。

■ 社長の選任プロセス

